

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 令和5年度事業報告及び決算報告

I 事業の実施状況

1. 博物館事業

(1) 展示事業

令和5年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は30ページ表1の通りです。

(2) 鑑賞会事業

① 定例鑑賞会

定例鑑賞会は8月、11月及び12月を除く毎月第2土曜日の午後に刀剣博物館講堂において開催し、鑑賞会には開催日平均43名の出席がありました。また、定例鑑賞会にあわせて、平成24年9月から刀剣を手にとつて鑑賞したことの無い初心者の方向けの刀剣の扱い方、鑑賞の方法を学ぶための「日本刀鑑賞マナー講座」を予約制で開催、修了した方には修了証を発行し、令和5年度は125名の参加者がありました。

その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師の派遣を行いました。令和5年度は72件の依頼があり、刀剣類5点を貸与し、鑑賞の指導を講師（当協会学芸員）が行いました。協力団体開催の鑑賞会の出席者は平均22名でした。

② 全国大会

公益財団法人に移行して第3回目となる全国大会（全国規模の鑑賞会）を、当協会設立75周年及びたたら操業45周年を記念して、11月25日から26日の2日間、刀剣博物館及び第一ホテル両国で開催し、ご来賓の方々を含め270名超の参加者がありました。

本大会では、通常の鑑賞会の規模を超えて、130点余の名刀を一同に鑑賞していただくとともに、現代作家の作品を展示する等文化財としての刀剣類の普及を図りました。刀剣博物館においては企画展を開催し、拵や小道具を中心に、国宝3点をはじめとする刀剣類も含めた優品の数々を鑑賞していただきました。

また、本大会記念式典においては、彬子女王殿下に御臨席いただきおこたばを賜りました。さらに、同式典において協力団体及び協会関係功勞者並びに一本入札高得点者に賞状と記念品を贈呈いたしました。

(3) 作品発表会（現代刀職展）

2023年度現代刀職展を開催しました。この展示は、現代作家の作品発表の場の提供及び多くの方に技倆の高さをアピールすることを目的としており、令和5年8月11日（金）～10月15日（日）までの開催期間で、10,536名のお客様に会場いただきました。

(4) 古伝書等の公開

当協会収蔵の古伝書、一般刀剣関係書籍等を月曜日から金曜日の10時から16時（12時～13時を除く）まで事前予約制で一般の利用に供しました。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス（有料）も提供しました。令和5年度は31件の利用がありました。

(5) 刀剣相談

当協会に來館、または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置づけを認識していただくとともに、刀剣類の手入れ方法や保存方法についても助言いたしました。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に協力いたしました。

(6) 広報誌の発行

令和5年度は広報誌「刀剣美術」を795号から806号まで発行いたしました。当協会の編集委員及び編集担当職員が毎月編集委員会を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、随想、資料紹介等の掲載の他、鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員の皆様への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に販売いたしました。

(7) ホームページ活用

『刀剣美術』誌と共に、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるコンテンツを掲載しています。また、『刀剣美術』誌の一部記事を英訳してホームページから見ることができるようになり、海外の研究者、愛刀家等の要望にも応えています。引き続き会員の皆様をはじめとしたお客様に分かりやすい情報発信に努め、お客様とのコミュニケーションツールとして運用してまいります。

2. 教育、講習事業

(1) 刀職技能訓練講習会

刀職者の技能向上とその普及を目的として、主として西日本エリアを対象として行っているこの講習会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、令和5年度で37回を数え、備前長船刀剣博物館において令和5年6月28日(水)から7月1日(土)の4日間開催いたしました。

講習部門は「柄下地の部」と「刀装金具の部」の2部門で、「柄下地の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「柄下地の基礎技法」を講習テーマとして実施し、受講者は3名でした。「刀装金具の部」は彫金師の無鑑査認定者の講師により「透鐔の制作」を講習テーマとして実施し、受講者は11名でした。また、閉講式において受講生に対し受講証書を交付いたしました。

(2) 第56回刀剣研磨・外装技術研修会並びに鍛冶研ぎ研修会

刀職者の技術の向上とその普及を目的とするこの研修会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、当協会講堂において令和5年7月24日(月)から7月29日(土)までの6日間開催いたしました。研修部門は「研磨の部」(前半3日間)及び外装の部として「白鞘の部」(柄前の部)「白銀の部」(後半3日間)であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「仕上げ研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生1名、研修生1名、聴講生8名の参加がありました。「白鞘の部」は鞘師の講師により、「掻き入れの基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生1名、研修生1名、聴講生4名の参加がありました。「柄前の部」

は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「蛇腹の基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生1名の参加がありました。「白銀の部」は鍮師の無鑑査認定者の講師により、「着下地・着金の基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生1名、研修生1名、聴講生6名の参加がありました。3年間の研修修了者は、白銀の部の研修生1名がおり、修了証書を交付し、その他特別研修生、研修生、聴講生にはそれぞれ特別研修証書、研修証書、聴講証書を交付いたしました。なお、鍛冶研ぎの部は諸般の事情により開催を見合わせました。

(3) 第41回作刀技術実地研修会

この研修会は、文化庁の作刀承認を得ること及び若手刀匠の技倆向上を目的として、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、令和5年9月27日(水)から9月30日(土)の4日間、島根県の日刀保日本刀鍛錬道場において開催しました。

本研修会は3年で修了となるカリキュラムで行っており、今回は第14期の3年目にあたり「焼入れ」をテーマとして刀匠の無鑑査認定者の講師により実施し、研修生2名、聴講生3名の参加がありました。この研修では近年のサブテーマである「各種玉鋼の効果的使用法」の研修も行いました。

3. コンクール事業

(1) 2023年度現代刀職展

現代作家の技術の向上及び普及を目的に、新作名刀展及び刀剣研磨・外装技術発表会を改組、新たに現代刀職展とした作刀の部、刀身彫の部、彫金の部、研磨の部及び外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、白銀の部の8部門について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページで公募し、作刀の部は令和5年4月3日(月)から5日(水)の間受け付け、令和5年4月13日(木)に審査会を開催し、また、研磨の部、刀身彫の部、彫金の部、白鞘の部、刀装の部、柄前の部及び白銀の部は令和5年6月5日(月)から7日(水)の間受け付けし、令和5年6月15日(木)及び16日(金)に審査会を開催しました。無鑑査による出品は、作刀の部9点、研磨の部8点、彫金の部1点、柄前の部2点、白銀の部2点の合計22点でした。

令和5年8月10日（木）午後1時30分から第一ホテル両国5階清澄において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、賞状及び副賞をそれぞれ交付しました。また、各部門について審査員の代表が審査員講評を行いました。展示は、令和5年8月11日（金）から10月15日（日）まで刀剣博物館にて行いました。

全部門の受付点数、審査結果は30ページ表2のとおりです。

4. 検定・資料収集事業

(1) 刀剣類の保存・特別保存審査

4月、7月、10月と1月を除き、毎月保存・特別保存刀剣等の審査を実施し、刀剣は6月からの3か月毎に、刀装・刀装具は5月からの3か月毎に該当月の指定した3日間で受け付けました。受付点数に応じて審査会を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したものは鑑定書を発行しました。

なお、審査の万全と業務効率化の維持を図るため令和5年11月審査受付分から受付件数に上限を設けました。

今年度の受付点数、合格点数は次のとおりです。

区 分	受付点数	合格点数
保 存 刀 剣	7, 166	4, 849
刀 装	311	171
刀装具	3, 388	2, 158
特別保存 刀 剣	3, 602	2, 308
刀 装	145	72
刀装具	1, 325	1, 005

(2) 刀剣類の重要・特別重要審査

第69回重要刀剣等審査は10月2日（月）～4日（水）の3日間で受け付けいたしました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、指定品の展示は令和6年2月23日（金）から4月14日（日）まで刀剣博物館において行いました。指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現

在作成中です。

受付点数、合格点数は次のとおりです。

なお、特別重要刀剣等審査は該当年ではないため実施しておりません。

(3) 資料収集

(1) 保存・特別保存・重要・特別重要各審査の合格物件すべての調書を作成し、写真もしくは押形と共に保管し、データベースで管理しました。また過去の合格物件も順次データ化を進めております。

また、全国の重要文化財等を所蔵する施設に職員を派遣し、刀剣押形等の貴重な資料の収集を行い、収集した資料を広報誌『刀剣美術』にて公開しました。

5. 資格付与事業

(1) 無鑑査の選任

今年度末現在、無鑑査認定者は作刀の部が17名、彫金の部が1名、研磨の部が16名、外装の部が10名です。

(2) 伝位授与

伝位審議会を6月、9月、12月及び令和6年3月の4回開催し、初伝位5名、中伝位3名、奥伝位待遇1名の合計9名の合格を認めるとともに、理事会等の決定により、それぞれ伝位証書を授与しました。

(3) 刀剣等指導員・刀剣等指導補助員登録

刀剣等指導員登録の申請が1名より、また同指導補助員登録の申請が1名より提出され、いずれも刀剣等指導員規程第2条並びに刀剣等指導補助員規程第2条の資格を有しているため証明書が発行されました。刀剣等指導員の資格要件には中伝位以上を授与された者が、刀剣等指導補助員の資格要件には初伝位を授与された者がそれぞれ規定されていることから、伝位授与と連動して刀剣文化の普及に活躍する人材を育てることを目的としています。

6. たたら製鉄事業

たたら操業を令和6年1月24日(水)から2月10日(土)まで3代実施しました。これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れなどを行いました。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めました。

操業自体は下準備から始まり、釜作り・3昼夜操業・釜壊しを1単位つまり1代と数え、釜作り以降の作業を行い、約2.5トンの鋸を生産しました。3代には、彬子女王殿下の御成を賜り、お手ずから砂鉄を装入され、釜崩しや鋸出しをご視察されました。

また操業終了後からは、生産された鋸を破碎し翌年度以降の玉鋼配布準備のため各等級毎に選別する作業を行いました。

操業期間外では、日刀保たたら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行っています。①たたら炭の生産(約36トン)、②粘土の選別と確保、③注文に応じての玉鋼発送作業、④その他適宜発生する業務。さらに、生産された玉鋼について全国の刀匠に頒布の文書を郵送しました。

7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は3月末日現在国内に81団体、海外に4団体設立されており、全国及び海外の刀剣普及活動の拠点となっています。

〈国内81団体〉

日刀保根室支部 日刀保帯広支部 日刀保札幌支部 日刀保旭川支部
日刀保青森県支部 日刀保八戸支部 日刀保岩手県支部
日刀保秋田県支部 日刀保庄内支部 日刀保山形支部 日刀保米沢支部
宮城県美術刀剣保存協会 日刀保会津支部 日刀保福島県南支部
日刀保いわき支部 日刀保福島支部 新誠会 日刀保高崎支部
日刀保茨城県支部 土浦亀城刀剣会 日刀保栃木県支部
埼玉県刀剣保存協議会 日刀保千葉県支部 日刀保千葉県支部
日刀保東京都支部 日刀保東京都多摩支部 日刀保横浜支部 鎌倉刀剣会
日刀保湘南支部 日刀保山梨県支部 日刀保新潟支部 日刀保長岡支部
日刀保富山県支部 越前愛刀会 日刀保石川県支部 日刀保若狭支部

- 日刀保福井支部 日刀保長野県南支部 日刀保長野県北支部
日刀保長野県東信支部 日刀保静岡岡支部 日刀保静岡岡東支部
日刀保三河支部 日刀保名古屋支部 日刀保岐阜県支部
日刀保三重県支部 日刀保京都府支部 日刀保大阪支部
日刀保兵庫支部 姫路しらすぎ刀剣会 日刀保奈良支部
日刀保和歌山支部 日刀保岡山支部 日刀保山口支部
広島県美術刀剣保存協会 日刀保島根支部 島根県美術刀剣保存研究会
日刀保鳥取支部 日刀保香川県支部 日刀保四国讃岐支部
日刀保香川支部 日刀保愛媛支部 日刀保徳島支部
日刀保高知県支部 日刀保北九州支部 日刀保八幡支部 日刀保博多支部
福岡美術刀剣振興会 福岡県文化財保存協会 日刀保筑後支部
日刀保熊本支部 日刀保宮崎支部 日刀保延岡支部 日刀保長崎支部
日刀保佐賀支部 葉隠刀友会 日刀保大分支部 日刀保大分県北支部
日刀保鹿児島支部 薩摩刀栄会 e・刀剣研究会
- 〈海外4団体〉
ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部 イタリア支部
協力団体で開催する鑑賞会へ講師の派遣及び鑑賞刀剣の貸与
① ②の鑑賞会事業参照。
② 協力団体で開催する鑑賞会へ鑑賞刀剣のみの貸与
令和5年度は16件。
③ 協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催
今年度該当はありませんでした。
- ## Ⅱ 管理部門
- ### 1. 会員の状況
- 30ページ表3の通り。
令和6年4月1日以降の新入会者は109名。
今後も会員獲得に努めてまいります。
- ### 2. 職員に関する事項
- 職員数計26名 男子19名 女子7名(前期末比マイナス1)
平均年齢 男子49歳 女子46歳

3. 役員会等に関する事項

(1) 令和5年度評議員会（定款第26条による評議員会）

日時 令和5年4月7日（金）

議題 1 評議員の選任について

(2) 令和5年度第1回理事会

日時 令和5年6月8日（木） 午後1時30分から2時30分

議題 1 令和4年度事業報告及び決算（計算書類等及び財産目録）について

2 定時評議員会の招集について

3 資料の購入について

4 基本財産への繰り入れについて

5 審査規程に定める様式の変更について

(3) 令和5年度定時評議員会

日時 令和5年6月26日（月） 午後1時30分から2時15分

議題 1 令和4年度事業報告及び決算（計算書類等及び財産目録）について

2 評議員の選任について

3 役員の選任について

(4) 令和5年度第2回理事会

日時 令和5年6月26日（月） 午後2時30分から3時00分

議題 1 会長、専務理事及び常務理事の選定並びに職務代行順位の決定について

2 無鑑査の選任について

(5) 令和5年度理事会（定款第44条による理事会）

日時 令和5年9月22日（金）

議題 1 基本財産への繰り入れについて

2 審査員の選任について

3 伝位審議会委員の選任及び伝位の授与について

(6) 令和5年度理事会（定款第44条による理事会）

日時 令和5年12月11日（月）

議題 1 基本財産への繰り入れについて

(7) 令和5年度第3回理事会

日時 令和6年3月28日（木） 午後1時30分から3時00分

議題 1 令和6年度事業計画及び予算（資金調達及び設備投資の見込みを含む）について

2 特定資産取得資金の積立について

3 規程類の改正について

4 令和6年度審査員の選任について

5 現代刀職展運営委員会委員の選任について

6 刀剣博物館資料収集委員会委員の選任について

7 役員賠償責任保険について

Ⅲ その他

(1) 外部文化団体等からの出陳要請により協会所蔵文化財のほか、玉鋼、砂鉄や、たたら製鉄の工程などのパネルを貸与しました。また各文化団体等からの要請により所蔵文化財等の画像を貸与しました。

(2) 刀剣博物館は海外からの関心も高く、また協会主催の研修会に海外在住者の参加希望もあり、そうしたニーズにできる限り柔軟に対応してまいります。

(3) 当協会は昭和23年に東京国立博物館内において設立され、昭和43年2月に代々木の地に会館を建設して移転しました。約半世紀を経過し、建物の老朽化が激しく、東京都墨田区旧安田庭園内両国公会堂跡地への新築移転計画を進め、墨田区をはじめとする関係各所との協議・検討を経て、平成28年7月に工事着工、平成29年8月に竣工し、刀剣博物館は平成30年1月19日より開館しました。刀剣博物館は令和6年度中の公開承認施設取得を目指し、関係機関のご指導をいただきながら、引き続き準備を進めてまいります。また、墨田区とは移転時から友好関係を構築し、合同企画の実施等連携強化を図っています。

令和6年度事業報告には、定款第11条に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和6年6月

表 1

展示名	期間	一般	会員	招待	学生	中学生 以下	団体他	東京バス 利用者	計(人)
鉄の源流 たたら 製鉄と日本刀展	4.1～ 5.22※1	6,650	82	537	498	623	50	19	8,459
日本刀 記録の系譜 —記録の歴史と記録 されたモノたち—	6.3～ 7.30	6,799	118	262	865	889	104	24	9,061
2023年度現代刀職 展～今に伝わる いにしえの技～	8.11～ 10.15	8,381	140	334	747	858	51	25	10,536
日本刀の装い 豊か なる刀装・刀装具と 名刀展	10.28～ 12.24	8,129	158	508	791	681	173	10	10,450
特別展 正宗十哲 名刀匠正宗とその 弟子たち	R6.1.6～ 2.11	8,257	325	399	1,029	565	—	—	10,575
第69回重要刀剣等 新指定展	2.23～ 3.31※2	5,275	106	323	623	523	104	12	6,966
合計		43,491	929	2,363	4,553	4,139	482	90	56,047

(うち 外国人21,519人)

※1 会期は令和5年3月4日から5月21日まで。

※2 会期は令和6年4月14日まで。

表 2

部 門	出品数	特賞	優秀賞	努力賞	入選
作 刀	2 9 点	8 点	6 点	9 点	6 点
研 磨	7 6 点	1 1 点	1 1 点	1 4 点	3 5 点
刀 身 彫	1 点	1 点	0 点	0 点	0 点
彫 金	2 6 点	4 点	1 点	7 点	1 3 点
白 鞘	1 1 点	0 点	3 点	3 点	5 点
刀 装	8 点	0 点	1 点	3 点	4 点
柄 前	1 5 点	2 点	1 点	6 点	6 点
白 銀	1 0 点	1 点	1 点	2 点	5 点
合 計	1 7 6 点	2 7 点	2 4 点	4 4 点	7 4 点

研磨の部で5点落選、彫金の部で1点落選、白銀の部で1点落選となりました。

表 3

会員種別	国 内					海 外		計
	普通会員	学生会員	維持会員	優遇会員	終身会員	普通会員	終身会員	
令和6年3月31日	3,415人	20人	3人	5人	64人	221人	15人	3,743人
昨年度比	-32人	-1人	+1人	±0人	+5人	-4人	±0人	-31人

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当期末	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	478,490,607	376,459,247	102,031,360
未収金	48,239,366	147,420,761	△ 99,181,395
前払金	84,484	87,864	△ 3,380
販売用書籍	22,997,466	24,357,054	△ 1,359,588
製原材	95,028,126	92,795,546	2,232,580
流動資産合計	7,007,594	3,735,226	3,272,368
	651,847,643	644,855,698	6,991,945
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	893,654,934	914,277,740	△ 20,622,806
預金	357,548,307	357,548,307	0
投資有価証券	198,604,707	198,526,988	77,719
刀剣及び小道具	900,450,000	868,050,000	32,400,000
基本財産合計	2,350,257,948	2,338,403,035	11,854,913
(2) 特定資産			
預金	119,476,655	22,989,532	96,487,123
投資有価証券	0	96,487,123	△ 96,487,123
退職給付引当金	41,238,546	40,201,820	1,036,726
刀剣学奨学積立資産	4,863,763	4,863,763	0
新刀剣博物館建設積立資産	2,115,029	31,489,409	△ 29,374,380
資料購入資産	195,000,000	200,000,000	△ 5,000,000
建物付属設備改修資産	150,000,000	0	150,000,000
特定資産合計	512,693,993	396,031,647	116,662,346
(3) その他固定資産			
建物付属設備	5,567,625	7,607,085	△ 2,039,460
構築物	352,893,555	389,879,767	△ 36,986,212
機械装置	79,994,700	85,947,416	△ 5,952,716
什器備品	4,445,275	5,387,914	△ 942,639
土地	21,071,471	22,837,133	△ 1,765,662
保証金	300,000	300,000	0
刀剣及び小道具	70,000	70,000	0
刀剣修用教	168,747,824	168,447,824	300,000
絵画	15,367,000	15,367,000	0
図書及び押型	10,114,118	10,114,118	0
ソフウェア	8,960,000	8,960,000	0
その他固定資産	53,956,918	73,568,615	△ 19,611,697
	328,168	656,335	△ 328,167
その他固定資産合計	721,816,654	789,143,207	△ 67,326,553
固定資産合計	3,584,768,595	3,523,577,889	61,190,706
資産合計	4,236,616,238	4,168,433,587	68,182,651
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	80,451,393	81,847,433	△ 1,396,040
前受金	48,920,740	30,253,600	18,667,140
預り金	6,874,719	3,072,824	3,801,895
賞与引当金	8,002,164	7,722,725	279,439
流動負債合計	144,249,016	122,896,582	21,352,434
2. 固定負債			
退職給付引当金	41,238,546	40,201,820	1,036,726
固定負債合計	41,238,546	40,201,820	1,036,726
負債合計	185,487,562	163,098,402	22,389,160
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	217,201	389,147	△ 171,946
寄付金	65,773,088	75,117,986	△ 9,344,898
受贈固定資産	180,200,000	152,800,000	27,400,000
指定正味財産合計	246,190,289	228,307,133	17,883,156
(うち基本財産への充当額)	(244,075,260)	(196,817,724)	(47,257,536)
(うち特定資産への充当額)	(2,115,029)	(31,489,409)	(△ 29,374,380)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	3,804,938,387	3,777,028,052	27,910,335
(うち特定資産への充当額)	(2,106,182,688)	(2,141,585,311)	(△ 35,402,623)
(うち特定資産への充当額)	(469,340,418)	(324,340,418)	(145,000,000)
正味財産合計	4,051,128,676	4,005,335,185	45,793,491
負債及び正味財産合計	4,236,616,238	4,168,433,587	68,182,651

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,684,443	2,310,026	△ 625,583
基本財産利息収益	1,684,443	2,310,026	△ 625,583
特定資産運用益	3,917,750	47,006	3,870,744
特定資産受取利息	3,917,750	47,006	3,870,744
受取会費及び入金	39,800,960	40,191,960	△ 391,000
会費及び入金	39,800,960	40,191,960	△ 391,000
事業収益	530,888,180	501,259,552	29,628,628
刀剣博物館入館料収益	51,685,200	28,116,500	23,568,700
保存刀剣等鑑定会受取会費	329,012,800	303,346,000	25,666,800
重要刀剣等指定会受取会費	42,485,300	65,144,000	△ 22,658,700
鑑賞会受取会費	2,611,800	2,504,800	107,000
書籍売上高	16,037,365	10,749,766	5,287,599
出版売上高	7,463,110	4,541,696	2,921,414
広告料収	13,968,900	12,922,800	1,046,100
伝位登録料収益	352,000	495,000	△ 143,000
たたら事業収益	61,369,705	73,438,990	△ 12,069,285
全国大会収益	5,902,000	0	5,902,000
受取補助金等	4,821,946	4,784,828	37,118
受取国庫補助金	4,650,000	4,650,000	0
受取国庫補助金振替額	171,946	134,828	37,118
受取寄付金	9,744,514	8,245,624	1,498,890
一般寄付金	276,760	250,000	26,760
募金箱収益	122,856	2,672	120,184
受取寄付金振替額	9,344,898	7,992,952	1,351,946
雑収	2,952,346	2,671,964	280,382
受取利息	3,396	2,575	821
為替差益	5,550	10,800	△ 5,250
雑収	2,943,400	2,658,589	284,811
諸引当金戻入	7,722,725	8,863,671	△ 1,140,946
賞与引当金戻入	7,722,725	8,863,671	△ 1,140,946
経常収益計	601,532,864	568,374,631	33,158,233
(2) 経常費用			
事業費	543,861,338	533,880,054	9,981,284
役員報酬	3,046,400	3,102,400	△ 56,000
給料手当	136,427,290	140,086,942	△ 3,659,652
福利厚生費	19,840,130	21,388,156	△ 1,548,026
賃借料	26,173,525	22,019,058	4,154,467
旅費交通費	6,111,959	5,780,997	330,962
通信搬送費	13,561,583	11,566,593	1,994,990
消耗品費	3,332,146	4,195,182	△ 863,036
印刷製本費	29,421,586	25,354,068	4,067,518
光熱水料費	10,869,123	10,389,776	479,347
修繕費	23,344,238	14,941,484	8,402,754
賃借料	29,746,970	28,645,681	1,101,289
租税公課	28,394,500	29,034,200	△ 639,700
助成費	5,599,200	5,742,400	△ 143,200
支払保険料	3,117,562	4,348,169	△ 1,230,607
書籍仕入費	11,037,177	8,123,241	2,913,936
玉鋼材料費	8,107,294	11,926,285	△ 3,818,991
支払負担	136,137	131,307	4,830
委託託費	46,127,422	58,145,486	△ 12,018,064
広告宣伝費	23,103,388	9,967,456	13,135,932
支払寄付金	300,000	0	300,000
渉外費	2,635,788	1,336,022	1,299,766
雑費	4,987,463	2,087,680	2,899,783
減価償却費	103,017,164	102,605,167	411,997
退職給付費用	5,423,293	12,962,304	△ 7,539,011

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	30,061,191	29,212,959	848,232
役 員 報 酬	3,433,600	3,297,600	136,000
給 料 手 当	2,784,230	2,858,917	△ 74,687
福 利 厚 生 費	1,044,217	1,125,692	△ 81,475
旅 費 交 通 費	2,330,044	2,259,043	71,001
通 信 搬 費	713,767	608,768	104,999
消 耗 品 費	289,752	364,798	△ 75,046
光 熱 水 料 費	945,141	903,459	41,682
修 繕 費	2,029,934	1,299,259	730,675
賃 借 料	2,239,019	2,156,127	82,892
支 払 保 険 料	593,821	828,223	△ 234,402
顧 問 料	5,755,200	5,592,400	162,800
支 払 負 担 金	61,163	58,993	2,170
渉 外 費	539,860	273,643	266,217
雑 費	101,785	42,606	59,179
減 価 償 却 費	6,913,634	6,859,955	53,679
退 職 給 付 費	285,436	682,226	△ 396,790
会 議 費	588	1,250	△ 662
経 常 費 用 計	573,922,529	563,093,013	10,829,516
当 期 経 常 増 減 額	27,610,335	5,281,618	22,328,717
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
固 定 資 産 受 贈 益	300,000	0	300,000
経 常 外 収 益 計	300,000	0	300,000
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	300,000	0	300,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	27,910,335	5,281,618	22,628,717
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	3,777,028,052	3,771,746,434	5,281,618
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	3,804,938,387	3,777,028,052	27,910,335
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
固 定 資 産 受 贈 益	27,400,000	19,500,000	7,900,000
一 般 正 味 財 産 振 替	△ 9,516,844	△ 8,127,780	△ 1,389,064
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	17,883,156	11,372,220	6,510,936
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	228,307,133	216,934,913	11,372,220
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	246,190,289	228,307,133	17,883,156
III 正 味 財 産 期 末 残 高	4,051,128,676	4,005,335,185	45,793,491

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	運転資金として	2,888,803
	普通預金	みずほ銀行 新宿新都心支店 他	384,692,179
	郵便貯金	代々木郵便局振替口座	90,909,625
	未収金	審査事業における審査料 他	48,239,366
	前払金	N T T 東日本	84,484
	販売用書籍	「入札鑑定同然帳」他	22,997,466
	製品	島根県仁多郡奥出雲町	95,028,126
	原材料	島根県仁多郡奥出雲町	7,007,594
流 動 資 産 合 計			651,847,643
(固定資産)	建物	東京都墨田区横綱1-12-9	893,654,934
基本財産	普通預金	三井住友信託銀行新宿支店 他	338,306,198
	定期預金	東京東信用金庫両国支店	19,242,109
	投資有価証券	国債	198,604,707
	刀剣及び小道具	日本刀 他	900,450,000
基 本 財 産 合 計			2,350,257,948

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	預金	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 10,000,000	109,476,655
	退職給付引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金東京東信用金庫両国支店	職員17名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。 20,000,000	21,238,546
	刀剣学奨学積立資産	定期預金荘内銀行東京支店	刀剣類の優れた研究者の育成及び助成を目的とする積立資産である。 4,863,763	4,863,763
	新刀剣博物館建設資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	刀剣博物館建設事業の寄付金 2,115,029	2,115,029
	資料購入資産	定期預金東京東信用金庫両国支店	博物館での展示、鑑賞会、研究その他に活用する資料を取得するための資産である。 195,000,000	195,000,000
	建物付属設備改修資産	普通預金三菱UFJ銀行本所支店	建物付属設備の再調達資金の積立である。 150,000,000	150,000,000
	特定資産合計			512,693,993
	その他の固定資産	建物	島根県仁多郡奥出雲町	(供用財産) うち、公益目的保有財産99.4% うち、管理目的の財源として使用する財産0.6%
建物付属設備		東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産94% うち、管理目的の財源として使用する財産6%	352,893,555
構築物		東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	79,994,700
機械装置		島根県仁多郡奥出雲町 東京都墨田区横網1-12-9	公益目的保有財産である。 4,445,275	4,445,275
什器備品		東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	21,071,471
その他固定資産		東京都墨田区横網1-12-9	同上	328,168
土地		長野県上田市	300,000	300,000
保証金		(株)セコム	セキュリティシステム等の保証金として預けているものである。 70,000	70,000
刀剣及び小道具		東京都墨田区横網1-12-9 日本刀 他	公益目的保有財産である。 168,747,824	168,747,824
研修用教材		東京都墨田区横網1-12-9 刀剣及び小道具	公益目的保有財産である。 15,367,000	15,367,000
絵画		東京都墨田区横網1-12-9 日本画 他	公益目的保有財産である。 10,114,118	10,114,118
図書及び押型		東京都墨田区横網1-12-9 網屋押型 他	公益目的保有財産である。 8,960,000	8,960,000
ソフトウェア		東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産95% うち、管理目的の財源として使用する財産5%	53,956,918
その他固定資産合計			721,816,654	
固定資産合計			3,584,768,595	
資産合計			4,236,616,238	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	職人 他	委託作業費 他	80,451,393
	前受金	個人会員 他	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費等である。	48,920,740
	預り金	職員他	社会保険料 他	6,874,719
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	8,002,164
流動負債合計				144,249,016
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員17名に対する退職金の支払いに備えたものである。	41,238,546
固定負債合計				41,238,546
負債合計				185,487,562
正味財産				4,051,128,676

監査報告書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
会長 酒井忠久 殿

令和6年6月3日
公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
監事 大久保 洋吉
公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
監事 戸澤 重俊

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における令和5年4月1日から令和6年3月31日までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類（貸借対照表・正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い、法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。

以上